



3. 水辺のはたらき

春日市のため池は、昔と比べるとずいぶん少なくなっていました。しかし、周辺のまちと比べると、まだまだ多くのため池が残されています。ため池や川には水辺がすきな生き物が生活していて、山林とはちがう種類のいきもののであうことができます。

また、川やため池の周りには湿地やみどりが残されていることが多く、まちなかのみどりと同じようにいきもの行き来できる道、水とみどりのネットワークとしてはたらいています。

春日市のいろいろな水辺

かみさんてんいけ
■上散田池



奴国の丘歴史公園内にあります。

■白水池



白水大池公園内にあり、周遊歩道があります。冬季には越冬のため多くのカモが渡来します。

そうりいけ
■惣利池



オオカナダモが群生し、ブルーギルが泳いでいます。

やしろいけ
■社池



スイレンなどの水草の種類の多い自然豊かなため池です。春日神社の森とともに多くの動植物が生活しています。

■春日貯水池

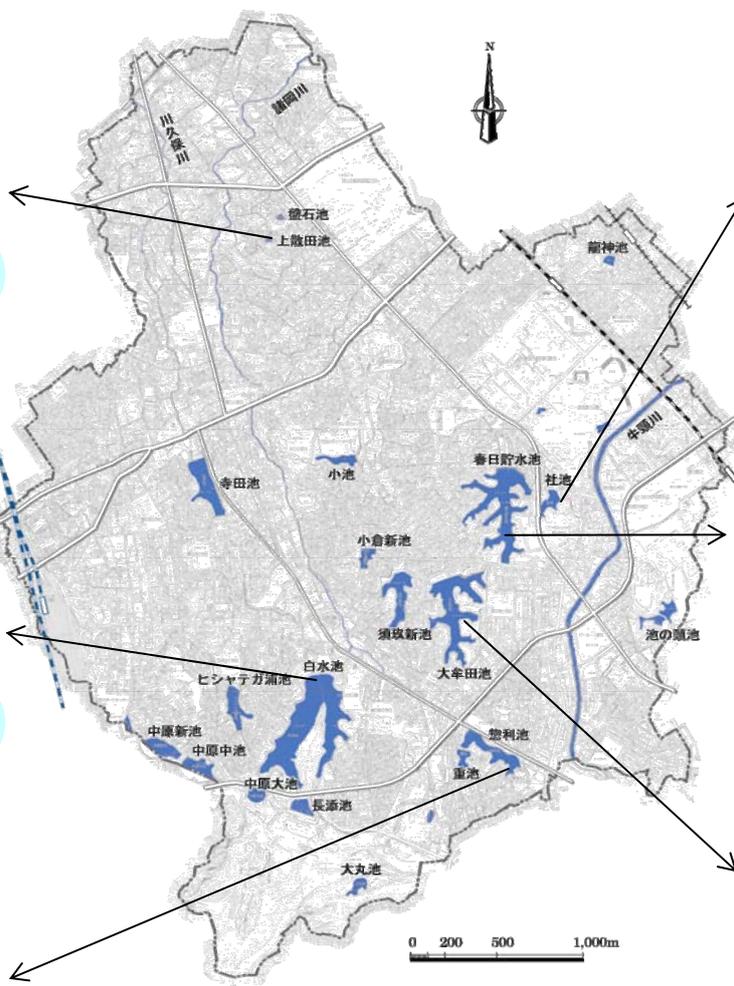


春日市民の飲み水をたくわえるため池です。まちなかのため池とは思えないほど、きれいな水をたえています。

■大牟田池



白水池に次ぐ2番目に大きな池です。周囲は住宅地に面しています。



しょうかい
■春日市の水辺で生活するいきものたちを紹介します。

◎ **河川で生活するいきもの** 水辺にはカワセミやサギ類などがきます。川の中ではギンブナやカマツカなどの魚を見ることができます。

■カワセミ



■サギ類(コサギ)



■ギンブナ



■カマツカ



■ナマズ



■モクズガニ



■スズエビ



◎ **ため池で生活するいきもの** ため池ではカメの姿を見ることができ、冬にはカモ類が越冬のためにやってきます（春日市には 10 種類のカモが来ます）。

■アカミガメ



■キンクロハジロ



■ハシビロガモ



■マガモ



■ヨシガモ



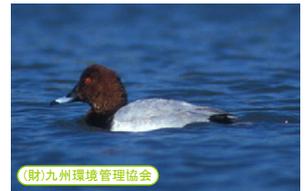
■ヒドリガモ



■コガモ



■ホシハジロ



コラム

■ため池を保護しています

典型的な農村地帯であった春日市も、都市開発のため、次々にため池が埋め立てられていきました。そんな中、環境保護議論の高まりや市民団体の熱心な活動により、昭和 60 年 6 月、「春日市溜池保全条例」が作られました。

全国でも珍しい、この「溜池保全条例」は、ため池とその周辺の自然環境の保護を目的としています。春日市の自然環境の維持に役立っています。